

令和6年度
広島市立美鈴が丘高等学校
教育課程
年間授業計画
－ シラバス －



第2学年

目 次 (第2学年)

教育課程 (令和5年度入学者)	1
評価および評定の基準について	2
【国語】	
論理国語	3
古典探究	6
【地歴・公民】	
世界史探究 (文科型)	8
日本史探究 (文科型)	11
地理総合	14
【数学】	
数学Ⅱ・数学B・数学C (文科型)	16
数学Ⅱ・数学B・数学C (理科型)	18
【理科】	
物理基礎 (理科型)	20
化学 (理科型)	22
生物基礎 (文科型)	24
生物基礎 (理科型)	26
地学基礎 (文科型)	28
【保健体育】	
体育	30
保健	33
【芸術】	
音楽Ⅱ	35
美術Ⅱ	37
書道Ⅱ	39
【外国語】	
英語コミュニケーションⅡ	41
論理・表現Ⅱ	43
【家庭科】	
家庭基礎演習	45
【総合的な探究の時間】	
探究×友愛	47

広島市立美鈴が丘高等学校 令和5年度入学者教育課程

1年		2年		3年		
普通		普通		普通		
		文科型	理科型	文科Ⅰ型	文科Ⅱ型	理科型
1	現代の国語	1	論理国語	1	論理国語	論理国語
2		2	論理国語	2	論理国語	論理国語
3	言語文化	3	古典探究	3	古典探究	古典探究
4		4	古典探究	4		
5		5	地理総合	5	地理総合	
6	歴史総合	6	地理総合	6	地理探究	地理探究
7		7	世界史探究 日本史探究	7		
8	8	数学Ⅱ		8		
9	公共	9	数学Ⅱ	9	世界史研究	
10	数学Ⅰ	10	数学B	10	政治・経済 倫理	数学Ⅲ 発展数学
11		11	数学Ⅱ	11		
12		12	数学C	12		倫理
13	数学A	13	数学B	13		数学B
14		14	数学C	14		数学C
15	化学基礎	15	生物基礎	15	数学演習ⅠA	化学
16		16		物理基礎	16	
17	体育	17	地学基礎	17	数学B・数学C	物理 生物
18		18		生物基礎	18	
19	保健	19	音楽Ⅱ 美術Ⅱ 書道Ⅱ 家庭基礎演習	19	化学基礎演習	物理 生物
20	音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ	20		20	地学基礎演習	
21		21		21	生物基礎演習	生物基礎演習
22	英語コミュニケーションⅠ	22	体育	22	体育	体育
23		23		23		
24		24	保健	24	保健	保健
25	論理・表現Ⅰ	25		25		
26		26	英語コミュニケーションⅡ	26	英語コミュニケーションⅢ	英語コミュニケーションⅢ
27	家庭基礎	27	英語コミュニケーションⅡ	27	英語コミュニケーションⅢ	英語コミュニケーションⅢ
28		28		28		
29	情報Ⅰ	29	論理・表現Ⅱ	29	論理・表現Ⅲ	論理・表現Ⅲ
30		30	論理・表現Ⅱ	30	論理・表現Ⅲ	論理・表現Ⅲ
31	探究×節度	31	探究×友愛	31	探究×進取	探究×進取
32	LHR	32	LHR	32	LHR	LHR

第1学年の「総合的な探究の時間」の名称は「探究×節度」とする。
 第2学年の「総合的な探究の時間」の名称は「探究×友愛」とする。
 第3学年の「総合的な探究の時間」の名称は「探究×進取」とする。

令和6年度 第2学年 評価および評定の基準について

各教科・科目の学習成績の評価については、原則として下の表を基準にして行います。

○ 観点別（ABC）の評価の基準

評価	A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
達成度	70%以上	40%以上70%未満	40%未満

※なお、評価については3つの観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」について行います。教科・科目の各観点の評価点の詳細はシラバスを参照してください。

○ 評定段階の基準

評定は原則として次の表を基準として行います。詳細はこのページにある10段階評定の基準、5段階評定の基準の表を参照してください。

区 分	評定	
	10段階	5段階
十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの	10、9	5
十分満足できると判断されるもの	8、7	4
おおむね満足できると判断されるもの	6、5、4	3
努力を要すると判断されるもの	3	2
努力を要すると判断されるもののうち、特に程度の低いもの(不可)	2、1	1

1、2学期は、3つの観点の評価点を合計し、達成度によってその学期の10段階評定を決めます。

10段階評定の基準

評定	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
達成度	90%以上	80%以上	75%以上	70%以上	60%以上	50%以上	40%以上	30%以上	30%未満	

学年末は、3つの観点の年間の評価点を合計し、その達成度によって5段階評定を決めます。

5段階評定の基準

評定	5	4	3	2	1
達成度	80%以上	70%以上	40%以上	30%以上	30%未満

年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理国語	単位数	2単位
		学年等	第2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>○教科書「精選 論理国語」(東京書籍)</p> <p>○副教材「文学国語セレクション」(東京書籍)</p> <p>「豊かな語彙力をはぐくむ 新しい常用漢字」(数研出版)</p> <p>「三訂版 プログレス 現代文総演習 標準編」(いっぴな書店)</p> <p>「三訂版 評論速読トレーニング1500」(数研出版)</p> <p>「読解・考察・まとめができる 現代文 記述問題攻略ノート 習得編」(数研出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	実社会において理解したり表現したりするために必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的に考える力や批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価点	360点	360点	360点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	「ミロのヴィーナス」 (副教材)「山月記」 「相手依存の自己規定」 (論理の力)3 要約する力、4 質問する力	・定期考査 ・春課題テスト ・小テスト 等	・定期考査 ・春課題テスト 等	・週末課題 ・授業態度 ・ノート ・授業課題 ・小テスト 等
	評価点	140点	140点	140点
2	「科学的「発見」とは」 (副教材)「檸檬」 「「である」ことと「すること」」 (副教材)「モードの変遷」 (副教材)「硝子の駒—短歌抄」「金剛の露—俳句抄」	・定期考査 ・夏課題テスト ・小テスト 等	・定期考査 ・夏課題テスト 等	・週末課題 ・授業態度 ・ノート ・授業課題 ・小テスト 等

	(副教材)「永訣の朝」			
	評価点	140点	140点	140点
3	(副教材)「ころ」 (社会)「消費されるスポーツ」	・定期考査 ・冬課題テスト ・小テスト 等	・定期考査 ・冬課題テスト 等	・週末課題 ・授業態度 ・ノート ・授業課題 ・小テスト 等
	評価点	80点	80点	80点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	●春課題テスト (芸術)「ミロのヴィーナス」 → 具体例に注目して筆者の主張を理解する。	5
	5	(副教材)「山月記」 → 人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。	7
	6	●第1回考査 (言語)「相手依存の自己規定」 → 具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読み、言語と自我の構造について考える。	6
	7	(論理の力)3 要約する力、4 質問する力 → 論理的な表現を学ぶ。	4
2	8	●夏課題テスト (科学)「科学的「発見」とは」 → 本文中の二つの課題を体験して読み、科学的視点の持ち方とその意義を理解する。	5
	9	(副教材)「檸檬」 → 登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、「檸檬」の持つ意味について考える。	7
	10	●第2回考査 (近代)「である」ことと「する」こと → 例示と意見の関係を整理して主張を捉え、変化する社会	8
	11	における人間の在り方について考える。	
	12	(副教材)「モードの変遷」 → 具体例として挙げられた単価の表現の特質を理解し、時代の変化との関わりを考える。	5
	(副教材)「硝子の駒—短歌抄」「金剛の露—俳句抄」 → 近代の短歌、俳句の特徴と表現効果を理解し、鑑賞する。	3	
	●第3回考査 (副教材)「永訣の朝」 → 表現された内容を読み取り、筆者の妹への思いを解釈する。	3	
3	1	●冬課題テスト (副教材)「ころ」 → 人物の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありようについて考える。	10
	2	(社会)「消費されるスポーツ」 → 筆者の提示する問題を読み取って整理し、メディアとスポーツの関係について理解を深める。 ●第4回考査	7

5 その他

「論理国語」は、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目的としています。互いの考えを尊重しながら、高め合う姿勢で授業に臨んでください。

○前日までに意味調べや本文読みなどの予習を行い、小テストの学習を行って授業に臨んでください。

- 授業中は、積極的に授業に取り組み、ノートはもちろん、与えられた課題に真摯に取り組んでください。
- 授業の内容に関して疑問に思ったこと、わからなかったことは積極的に質問しましょう。授業時間以外に質問に来てもかまいません。
- 学んだことを定着させるには、復習が肝要です。教科書やノート等で学習内容を整理・確認しましょう。
- 週末課題の問題集は指示を守って真摯に取り組み、期限内に提出してください。未提出や不備のものは指導します。
- 現代文を理解したり、話し合ったり、文章を書いたりするためには、歴史や社会についての知識・理解が不可欠です。日ごろから新聞や雑誌を読み、情報を収集・整理しておきましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	古典探究	単位数	2 単位
		学年等	第2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>○教科書「精選古典探求」(第一学習社)</p> <p>○副教材 「完全傍訳やさしくくわしい古典文法 三訂版」(尚文出版)</p> <p>「記入してわかる やさしくくわしい古典文法ノート 修訂版」(尚文出版)</p> <p>「みるみる覚える古文単語 300+30 三訂版」(いいずな書店)</p> <p>「新版 古文助動詞・漢文句法 マスターノート」(数研出版)</p> <p>「新版 古典文法習得のための まぎらわしい語の識別 マスターノート」(数研出版)</p> <p>「基礎から解釈へ 漢文必携 五訂版」(大修館書店)</p> <p>「3ステップオリジナル問題集 新成古典(古文・漢文) 大学入学共通テスト対策 新装版」(尚文出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価点	360点	360点	360点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	(随筆)・「二月つごもりごろに」(『枕草子』) (諸家の思想) ・「性善」(孟子)、「小国寡民」(老子)、「曳尾於塗中」(莊子)、「侵官之害」(韓非子) (物語)・「光る君誕生」(『源氏物語』)	・定期考査 ・春課題テスト ・小テスト 等	・定期考査 ・春課題テスト 等	・週末課題 ・授業態度 ・ノート ・授業課題 等
	評価点	140点	140点	140点
2 学期	(物語)・「若紫」(『源氏物語』) (項羽と劉邦) ・「鴻門の会一劍の舞・樊噲、頭髮上指す」(『史記』) ・「四面楚歌一時利あらず・項王の最期」(『史記』) (日記)・「門出」(『源氏の五十余巻』(『更級日記』)	・定期考査 ・春課題テスト ・小テスト 等	・定期考査 ・春課題テスト 等	・週末課題 ・授業態度 ・ノート ・授業課題 等
	評価点	140点	140点	140点

3 学 期	(物語)・「弓争ひ」 (投げ入れ教材)・漢文読解演習 (和歌・俳諧)・古今和歌集・新古今和歌集	・定期考査 ・春課題テスト ・小テスト 等	・定期考査 ・春課題テスト 等	・週末課題 ・授業態度 ・ノート ・授業課題 等
	評価点	80点	80点	80点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	●春課題テスト	7
	5	(随筆) ・「二月つごもりごろに」(『枕草子』)→随筆を読み、そこに表れたものの見方や考え方を理解する。 (諸家の思想) ・「性善」(孟子)、「小国寡民」(老子)、「曳尾於塗中」(莊子)、「侵官之害」(韓非子) →諸家の思想を比較して読み、古代中国思想について理解を深める。	
	6	●第1回考査 (物語) ・「光る君誕生」(『源氏物語』) →物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。	
2 学 期	7		8
	8	●夏課題テスト	10
	9	(物語) ・「若紫」(『源氏物語』) ●第2回考査 (項羽と劉邦)	
	10	・「鴻門の会一剣の舞・樊噲、頭髮上指」(『史記』)→史伝を読み、時代背景の概略や登場人物を整理する。	11
11	「四面楚歌一時利あらず・項王の最期」(『史記』)→追い詰められていく項王の心境を読み取り、人間の生き方についての考えを深める。 (日記) ・「門出」(『源氏の五十余巻』(『更級日記』)→晩年になってまとめられた自伝的日記を読み、少女時代の自分を客観的に見つめた作者像に触れる。	10	
3 学 期	12	●第3回考査	
	1	●冬課題テスト (物語) ・「弓争ひ」(『大鏡』)→歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿の一端に触れる。	8
	2	(投げ入れ教材) ・漢文読解演習 (和歌・俳諧) ・古今和歌集・新古今和歌集→我が国の伝統文化の一つである和歌の表現の特色を理解し、鑑賞する。	3
		●第4回考査	6

5 その他

「古典探究」では、先人の残した文章を読み味わうことを通して、古の考えや知恵を学びます。その事によって、今を生きる私達の生活や社会を見つめることもできますし、新たな発見もあるでしょう。現代語と異なるという理由で敬遠せず、先人たちの残した言葉に耳を傾けましょう。

○予習は必須です。授業担当者の指示に従い、本文写し、意味調べ、口語訳を行って授業に臨んでください。

○授業中は、積極的に授業に取り組み、ノートはもちろん、与えられた課題に真摯に取り組んでください。

○グループワーク等を行う場合には、発言・傾聴を意識して積極的に参加してください。

○授業の内容に関して疑問に思ったこと、わからなかったことは積極的に質問しましょう。授業時間以外に質問に来てもかまいません。

○古典の理解には、単語・文法・時代背景の理解の3つは欠かせません。単語や文法の力を小テストで身に付けましょう。

○週末課題の問題集は指示を守って真摯に取り組み、期限内に提出してください。未提出や不備のものは指導します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	世界史探究	単位数	3単位
		学年等	第2学年・文科型選択

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 世界の歴史の大きな枠組みと展開にかかわる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 世界の歴史の大きな枠組みと展開にかかわる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	<p>『詳説世界史』(山川出版社)</p> <p>『最新世界史図説タペストリー』(帝国書院)、『新 世界史研究ノート 標準』(啓隆社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開にかかわる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開にかかわる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論することができる。	歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、その諸事象を我が国や他国、それぞれの文化を尊重し、主体的に解決しようとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	[第1部 諸地域の歴史的特質と形成] 第1章 文明の成立と古代文明の特質 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題等 ・ワークシートの記述分析
	評価点	50点	50点	50点

2 学 期	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 第5章 イスラム教の成立とヨーロッパ世界の形成 〔第2部 諸地域の交流・再編〕 第6章 イスラム教の伝播と西アジアの動向	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析	・学習課題等 ・ワークシートの記述分析
	評価点	100点	100点	100点
3 学 期	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析	・学習課題等 ・ワークシートの記述分析
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	〔第1部 諸地域の歴史的特質と形成〕 第1章 文明の成立と古代文明の特質 1節 文明の誕生 探究活動1	7
	5	2節 古代オリエント文明とその周辺 3節 南アジアの古代文明 4節 中国の古代文明 5節 南北アメリカ文明	10
	6	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 探究活動2 1節 中央ユーラシアー草原とオアシスの世界 2節 秦・漢帝国	11
	7	◆-----第1回考査----- 3節 中国の動乱と変容 4節 東アジア文化圏の形成	8
2 学 期	8	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 1節 仏教の成立と南アジアの統一国家 探究活動3 2節 インド古典文化とヒンドゥー教の定着 3節 東南アジア文化圏の形成	3
	9	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 1節 イラン諸国家の興亡とイラン文明	12
	10	◆-----第2回考査----- 2節 ギリシア人の都市国家 3節 ローマと地中海支配 探究活動4 4節 キリスト教の成立と発展	9
	11	第5章 イスラム教の成立とヨーロッパ世界の形成 1節 アラブ大征服とイスラム政権の成立 2節 ヨーロッパ世界の形成	12
	12	◆-----第3回考査----- 〔第2部 諸地域の交流・再編〕 第6章 イスラム教の伝播と西アジアの動向 1節 イスラム教の諸地域への伝播 探究活動5	9

		2節 西アジアの動向	
3 学 期	1	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 1節 西ヨーロッパの封建社会とその展開 探究活動6	9
	2	2節 東ヨーロッパ世界の展開 3節 西ヨーロッパ世界の変容	11
	3	4節 西ヨーロッパの中世文化 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	
		1節 アジア諸地域の自立化と宋 2節 モンゴルの大帝国	4
		◆-----第4回考査	

5 その他

- 世界史探究の授業では自分の考えをしっかりとった上で、ペア学習やグループ学習を通して学びを深めます。
- 学習課題や振り返りの提出は ICT 機器を活用し、指定された書面もしくは Classroom 内で行います。
- 探究するテーマについて、これまで学習した内容から仮説や検証計画を立て、考察をグループで行うことを通して、多面的・多角的に探究する力を育成します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	日本史探究	単位数	3単位
		学年等	第2学年・文科型選択

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 我が国の歴史の展開にかかわる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	『日本史探究』(実教出版)、『図説日本史通覧』(帝国書院) 『新 日本史研究ノート 標準』(啓隆社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史の展開にかかわる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりすることができる。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。
評価点	500点	500点	500点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	[第1部 原始・古代の日本と東アジア] 第1章 日本文化のあけぼの 第2章 ヤマト政権の成立と古墳文化 第3章 律令国家の形成	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・ワークシート等の記述分析	・学習課題等 ・ワークシート等の記述分析
	評価点	150点	150点	150点

2 学 期	第4章 古代の国家・社会の変容 〔第2部 中世の日本と世界〕 第1章 荘園公領制の成立と院政 第2章 中世の国家社会の展開	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・ワークシートの記 述分析	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・ワークシートの記 述分析	・学習課題等 ・ワークシートの記 述分析
	評価点	200点	200点	200点
3 学 期	第3章 中世の国家・社会の変容	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・ワークシートの記 述分析	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・ワークシートの記 述分析	・学習課題等 ・ワークシートの記 述分析
	評価点	150点	150点	150点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	〔第1部 原始・古代の日本と東アジア〕 第1章 日本文化のあけぼの 1 日本列島最古の文化 2 縄文時代の社会と文化	15
	5	3 弥生時代の社会と文化 第2章 ヤマト政権の成立と古墳文化 1 小国の分立と邪馬台国	10
	6	2 古墳の出現とヤマト政権の成立 3 ヤマト政権の展開と統治の進展 4 古墳時代の生活と文化	19
		7	
			第1回考査
2 学 期	8	第4章 古代の国家・社会の変容 1 律令体制再編期の政治と社会	14
	9	2 摂関政治の成立と支配体制の転換 3 国風文化	
		第2回考査	
	10	〔第2部 中世の日本と社会〕 第1章 荘園公領制の成立と院政 第2章 中世の国家・社会の展開 1 鎌倉幕府の成立と朝廷 2 中世に生きる人々	7
	11	3 蒙古襲来と幕府の衰退 4 鎌倉文化	18
12	第3章 中世国家・社会の変容 1 南北朝の動乱	第3回考査	

3 学 期	1	2 室町幕府の政治と外交	22
	2	3 室町社会の展開と応仁の乱	
	3	4 室町文化 5 戦国大名の分国経営	
		第4回考査	

5 その他

- 「日本史探究」では、教科書を事前によく読み、わからないことを抱いてから授業に臨んでください。
- 歴史の学習は暗記ではありません。資料からわかることを整理し、問いに対して自分なりの言葉で答えを考えることが重要です。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	地理総合	単位数	2単位
		学年等	第2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	教科書:『高等学校 新地理総合』(帝国書院) 地図帳:『詳解現代地図 最新版』(二宮書店) 副教材:『新編フォトグラフィア地理図説』(東京法令出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	現代世界の地理的事象について、基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。 地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、特色を読み取り図表などさまざまなまとめ方を身につける。	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて多面的・多角的にとらえる。	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、生活している土地に対する関心をもつ。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	〔第1部 地図でとらえる現代世界〕 第1章 地図と地理情報システム 第2章 結びつきを深める現代世界 〔第2部 国際理解と国際協力〕 第1章 生活文化の多様性と国際理解 ・・・世界の地形、世界の気候	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・各種提出物 ・ワークシートの記述分析	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・各種提出物 ・ワークシートの記述分析	・授業中の行動観察 ・各種提出物 ・ワークシートの記述分析
		50点	50点	50点
2 学 期	〔第3部 持続可能な地域づくりと私たち〕 第1章 自然環境と防災	・定期考査等 ・授業中の行動観察	・定期考査等 ・授業中の行動観察	・授業中の行動観察 ・各種提出物

	第2章 生活圏の調査と地域の展望 〔第2部(つづき)〕 第2章 地球的課題と国際協力 …地球環境問題、食糧問題	・各種提出物 ・ワークシートの記 述分析	・各種提出物 ・ワークシートの記 述分析	・ワークシートの記 述分析
		100点	100点	100点
3 学期	第2章 地球的課題と国際協力 …資源・エネルギー問題、人口問題 〔第1部(つづき)〕 第1章 生活文化の多様性と国際理解 …世界の産業、世界の言語・宗教、歴史的 背景と人々の生活	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・各種提出物 ・ワークシートの記 述分析	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・各種提出物 ・ワークシートの記 述分析	・授業中の行動観察 ・各種提出物 ・ワークシートの記 述分析
		50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	〔第1部 地図でとらえる現代世界〕 第1章 地図と地理情報システム	5
	5	第2章 結びつきを深める現代世界 探究活動:地図の利用	7
	6	〔第2部 国際理解と国際協力〕 第1章 生活文化の多様性と国際理解 …世界の地形 探究活動:地形図の読図	7
	7	…世界の気候 ----- 第1回考査	5
2 学期	8	〔第3部 持続可能な地域づくりと私たち〕 第1章 自然環境と防災 探究活動:地図やグラフを読み取る	2
	9	探究活動:ハザードマップの見方 ----- 第2回考査	8
	10	〔第2部(つづき)〕	6
	11	第2章 地球的課題と国際協力	8
	12	…地球環境問題、食糧問題 探究活動:統計資料を読み取ろう ----- 第3回考査	6
3 学期	1	第2章 地球的課題と国際協力 …資源・エネルギー問題、人口問題 探究活動:統計資料を読み取ろう	6
	2	〔第1部(つづき)〕 第1章 生活文化の多様性と国際理解	7
	3	…世界の産業、世界の言語・宗教、歴史的背景と人々の生活 探究活動:日本と世界のつながり ----- 第4回考査	3

5 その他

- ・ 授業中に図版や資料の読み取りをします。また、作図作業をするので、色鉛筆または3～4色のラインマーカーやサインペンを用意してください。
- ・ 授業内容の関連性を考慮したため、授業における単元の順番は教科書の章立ての順とは少し異なっています。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学Ⅱ・数学B・数学C(文系)	単位数	3+1+1 単位
		学年等	第2学年・文科型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分、数列、統計的な推測、ベクトル、平面上の曲線と複素数平面の各分野について、以下のことを目指す。</p> <p>内容を理解し、基礎的な知識を習得し、技能を習熟する。</p> <p>事象を数学的に考察する能力を培う。</p> <p>数学のよさを認識できるようになる。</p> <p>これらを活用する態度を身に付ける。</p> <p>自らの学習方法・成果を振り返り、よりよい学習へ調整する。</p>
使用教科書 副教材等	<p>「高等学校 数学Ⅱ」(数研出版) 「高等学校 数学B」(数研出版) 「高等学校 数学C」(数研出版)</p> <p>「クリアー 数学Ⅱ+B+C」(数研出版) 「チャート式 解法と演習 数学Ⅱ+B+C」(数研出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</p> <p>事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。</p>	<p>数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。</p>	<p>数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする。</p> <p>粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。</p> <p>問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。</p>
評価点	100点	100点	100点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	<p>数学Ⅱ 第1章 式と証明</p> <p>数学Ⅱ 第2章 複素数と方程式</p> <p>数学Ⅱ 第3章 図形と方程式</p> <p>数学Ⅱ 第4章 三角関数</p>	<p>定期考査</p> <p>課題テスト</p> <p>単元確認テスト</p> <p>提出物等</p>	<p>定期考査</p> <p>課題テスト</p> <p>単元確認テスト</p> <p>提出物等</p>	<p>探究学習</p> <p>学習の振り返り</p> <p>提出物等</p>
	評価点	40点	40点	40点
2 学 期	<p>数学Ⅱ 第4章 三角関数</p> <p>数学Ⅱ 第5章 指数関数と対数関数</p> <p>数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法</p> <p>数学B 第1章 数列</p>	<p>定期考査</p> <p>課題テスト</p> <p>単元確認テスト</p> <p>提出物等</p>	<p>定期考査</p> <p>課題テスト</p> <p>単元確認テスト</p> <p>提出物等</p>	<p>探究学習</p> <p>学習の振り返り</p> <p>提出物等</p>
	評価点	40点	40点	40点
3 学 期	<p>数学B 第2章 統計的な推測</p> <p>数学C 第1章 平面上のベクトル</p> <p>数学C 第2章 空間のベクトル</p>	<p>定期考査</p> <p>課題テスト</p> <p>単元確認テスト</p> <p>提出物等</p>	<p>定期考査</p> <p>課題テスト</p> <p>単元確認テスト</p> <p>提出物等</p>	<p>探究学習</p> <p>学習の振り返り</p> <p>提出物等</p>
	評価点	20点	20点	20点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	数学Ⅱ 第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式と不等式の証明	15
	5	数学Ⅱ 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式	13
		探究課題1	25
	6	数学Ⅱ 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域	8
		数学Ⅱ 第4章 三角関数 第1節 三角関数	
	7	探究課題2 第1回考査	
	2 学期	8	数学Ⅱ 第4章 三角関数 第2節 加法定理
9		数学Ⅱ 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	12
		数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法 第1節 微分法と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法	24
10		探究課題3 第2回考査	
11		数学B 第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列 第3節 漸化式と数学的帰納法	24
		探究課題4	
12	第3回考査		
3 学期	1	数学B 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 第2節 統計的な推測	20
		数学C 第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形	14
	2	数学C 第2章 空間のベクトル 探究課題5 第4回考査	6

5 その他

高校での数学の学習について

脳は何歳からでも活性化できます。普段から、速さと正確さを兼ね備えた計算力を身につけるよう心がけましょう。

授業や課題に次のような姿勢で取り組みましょう。

1. 授業で扱ったような問題を解けるようになるだけでなく、初めて見るような問題であっても、柔軟に考えて取り組み、解決できる思考力を身に付けましょう。
2. 考えたことを、数式や文章で表現し、解答する表現力を磨きましょう。
※そのために解き直しをするなど、繰り返し問題を解くことが必要です。
3. 自らの学習方法・成果を振り返り、よりよい学習へと改善していきましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学Ⅱ・数学B・数学C(理系)	単位数	3+1+2 単位
		学年等	第2学年・理科型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分、数列、統計的な推測、ベクトル、平面上の曲線と複素数平面の各分野について、以下のことを目指す。</p> <p>内容を理解し、基礎的な知識を習得し、技能を習熟する。</p> <p>事象を数学的に考察する能力を培う。</p> <p>数学のよさを認識できるようになる。</p> <p>これらを活用する態度を身に付ける。</p> <p>自らの学習方法・成果を振り返り、よりよい学習へ調整する。</p>
使用教科書 副教材等	<p>「高等学校 数学Ⅱ」(数研出版) 「高等学校 数学B」(数研出版) 「高等学校 数学C」(数研出版)</p> <p>「クリアー 数学Ⅱ+B」(数研出版) 「チャート式 解法と演習 数学Ⅱ+B」(数研出版)</p> <p>「クリアー 数学Ⅲ+C」(数研出版) 「チャート式 解法と演習 数学Ⅲ+C」(数研出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</p> <p>事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。</p>	<p>数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。</p>	<p>数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする。</p> <p>粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。</p> <p>問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。</p>
評価点	100点	100点	100点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	<p>数学Ⅱ 第1章 式と証明</p> <p>数学Ⅱ 第2章 複素数と方程式</p> <p>数学Ⅱ 第3章 図形と方程式</p> <p>数学Ⅱ 第4章 三角関数</p>	<p>定期考査</p> <p>課題テスト</p> <p>単元確認テスト</p> <p>提出物等</p>	<p>定期考査</p> <p>課題テスト</p> <p>単元確認テスト</p> <p>提出物等</p>	<p>探究学習</p> <p>学習の振り返り</p> <p>提出物等</p>
	評価点	40点	40点	40点
2 学 期	<p>数学Ⅱ 第5章 指数関数と対数関数</p> <p>数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法</p> <p>数学B 第1章 数列</p> <p>数学B 第2章 統計的な推測</p>	<p>定期考査</p> <p>課題テスト</p> <p>単元確認テスト</p> <p>提出物等</p>	<p>定期考査</p> <p>課題テスト</p> <p>単元確認テスト</p> <p>提出物等</p>	<p>探究学習</p> <p>学習の振り返り</p> <p>提出物等</p>
	評価点	40点	40点	40点
3 学 期	<p>数学C 第1章 平面上のベクトル</p> <p>数学C 第2章 空間のベクトル</p> <p>数学C 第3章 複素数平面</p> <p>数学C 第4章 式と曲線</p>	<p>定期考査</p> <p>課題テスト</p> <p>単元確認テスト</p> <p>提出物等</p>	<p>定期考査</p> <p>課題テスト</p> <p>単元確認テスト</p> <p>提出物等</p>	<p>探究学習</p> <p>学習の振り返り</p> <p>提出物等</p>
	評価点	20点	20点	20点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	数学Ⅱ 第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式と不等式の証明	15
	5	数学Ⅱ 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式	13
		探究課題1	25
	6	数学Ⅱ 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域	21
		数学Ⅱ 第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	
	7	探究課題2 第1回考査	
	2 学期	8	数学Ⅱ 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数
9		数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法 第1節 微分法と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法	24
		探究課題3	
10		第2回考査 数学B 第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列 第3節 漸化式と数学的帰納法	24
11		数学B 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 第2節 統計的な推測	28
		探究課題4	
12	第3回考査		
3 学期	1	数学C 第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形	15
		数学C 第2章 空間のベクトル	8
	2	数学C 第3章 複素数平面	10
		数学C 第4章 式と曲線 第1節 2次曲線 第2節 媒介変数表示と極座標	15
		探究課題5 第4回考査	

5 その他

高校での数学の学習について

脳は何歳からでも活性化できます。普段から、速さと正確さを兼ね備えた計算力を身につけるよう心がけましょう。

授業や課題に次のような姿勢で取り組みましょう。

1. 授業で扱ったような問題を解けるようになるだけでなく、初めて見るような問題であっても、柔軟に考えて取り組み、解決できる思考力を身に付けましょう。
2. 思考したことを、数式や文章で表現し、解答する表現力を磨きましょう。
※そのために解き直しをするなど、繰り返し問題を解くことが必要です。
3. 自らの学習方法・成果を振り返り、よりよい学習へと改善していきましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	物理基礎	単位数	3単位
		学年等	第2学年・理科型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。</p> <p>(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3)物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	物理基礎(東京書籍) 新課程版 セミナー物理基礎+物理(第一学習社) 改訂版フォトサイエンス物理図録(数研出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物体の運動と様々なエネルギーから問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	240点	240点	240点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	[第1編 物体の運動とエネルギー] 第1章 運動の表し方 第2章 さまざまな力とそのはたらき	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・学習課題等 ・実験レポート等の記述分析
	評価点	60点	60点	60点
2 学 期	第3章 力学的エネルギー [第2編 さまざまな物理現象とエネルギー] 第1章 熱 第2章 波	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・学習課題等 ・実験レポート等の記述分析
	評価点	120点	120点	120点
3 学 期	第3章 電気と磁気 第4章 エネルギーとその利用	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・学習課題等 ・実験レポート等の記述分析
	評価点	60点	60点	60点

年間指導計画表(シラバス)

科目名	化学	単位数	2単位
		学年等	第2学年・理科型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3)化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>第一学習社「高等学校 化学」(化学 708)</p> <p>第一学習社「2024セミナー化学基礎+化学」(学習サポートプラットフォームLibryを活用)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	化学の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	化学的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	280点	280点	280点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	〔第Ⅰ章 物質の状態〕 第1節 物質の状態変化 第2節 気体の性質 第3節 固体の構造 第4節 溶液の性質	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・学習課題等 ・実験レポート等の記述分析
	評価点	110点	110点	110点
2 学期	第4節 溶液の性質つづき 〔第Ⅱ章 物質の変化と平衡〕 第1節 化学反応と熱・光 第2節 電池・電気分解 第3節 化学反応の速さ	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・学習課題等 ・実験レポート等の記述分析
	評価点	110点	110点	110点
3 学期	第4節 化学平衡 第5節 電離平衡	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・学習課題等 ・実験レポート等の記述分析
	評価点	60点	60点	60点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	〔第Ⅰ章 物質の状態〕 第1節 物質の状態変化 ①物質の三態とその変化 ②気体分子の熱運動と圧力 ③飽和蒸気圧と蒸気圧曲線	5
	5	第2節 気体の性質 ①気体の法則 ②気体の状態方程式 ③理想気体と実在気体	7
	6	第3節 固体の構造 ①化学結合と結晶の種類 ②金属結晶の構造 ③イオン結晶の構造 ④共有結合の結晶の構造 ⑤分子結晶の構造 ⑥非晶質	7
	7	第4節 溶液の性質 ◆①溶解と溶液 ②希薄溶液の性質	6
2 学 期	8	②希薄溶液の性質	2
	9	③コロイド	8
		〔第Ⅱ章 物質の変化と平衡〕 第1節 化学反応と熱・光 ①化学反応とエンタルピー変化	第2回考査
	10	◆②ヘスの法則 ③結合エネルギー ④化学反応と光 ⑤エントロピー	6
	11	第2節 電池・電気分解 ①電池 ②電気分解 ③電気分解の応用	第3回考査
12	第3節 化学反応の速さ ①反応速度 ②化学反応の速さと濃度 ③化学反応の速さと温度 ④触媒	6	
3 学 期	1	第4節 化学平衡 ①可逆反応と化学平衡 ②平衡定数 ③平衡移動	6
	2	第5節 電離平衡 ①電離平衡と電離定数 ②電離定数とpH ③塩の反応と性質	第4回考査
	3	◆④緩衝液と緩衝作用 ⑤溶解度積	2

5 その他

- 化学の授業では自分の考えをしっかりと持った上で、ペア学習やグループ学習を通して学びを深めていきます。
- 学習課題は ICT 機器を活用して配信・提出を行います。各自のタブレット端末に Libry のアプリケーションをインストールしてください。
- 探究活動を行います。探究するテーマについて、これまで学習した内容から仮説や検証計画を立て、実験結果の考察をグループで行うことを通して、科学的に探究する力を育成します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	生物基礎	単位数	2単位
		学年等	第2学年・文科型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>数研出版「新編 生物基礎」</p> <p>数研出版「リードα生物基礎」</p> <p>数研出版「フォトサイエンス生物図録」</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象から問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探求しようとしたり、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとしたりしている。
評価点	230点	230点	230点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	第1章 生物の特徴	・定期考査等	・定期考査等 ・実験レポート等の 記述分析	・学習課題等 ・実験レポートや振 り返り等の記述分 析
	第2章 遺伝子とのはたらき			
	評価点	60点	60点	60点
2 学 期	第3章 ヒトの体内環境の維持	・定期考査等	・定期考査等 ・実験レポート等の 記述分析	・学習課題等 ・実験レポートや振 り返り等の記述分 析
	第4章 生物の多様性と生態系			
	評価点	110点	110点	110点
3 学 期	第4章 生物の多様性と生態系つづき	・定期考査等	・定期考査等 ・実験レポート等の 記述分析	・学習課題等 ・実験レポートや振 り返り等の記述分 析
	評価点			

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	〔第1章 生物の特徴〕 第1節 生物の多様性と共通性	5
	5	第2節 エネルギーの代謝	7
		第3節 呼吸と光合成	
	6	〔第2章 遺伝子とそのはたらき〕 第1節 遺伝情報とDNA	7
		7	第2節 遺伝情報の複製と分配
第3節 遺伝情報の発現			
		第1回考査	
2 学 期	8	〔第3章 ヒトの体内環境の維持〕	2
	9	第1節 体内での情報伝達と調節	8
	10	第2節 体内環境の維持のしくみ	6
		第2回考査	
	11	◆----- 第3節 免疫のはたらき	8
12	〔第4章 生物の多様性と生態系〕 第1節 植生と遷移	6	
	第3回考査		
3 学 期	1	第2節 植生の分布とバイオーム	6
	2	第3節 生態系と生物の多様性	7
	3	第4節 生態系のバランスと保全	3
		第4回考査	

5 その他

- 生物基礎の授業では自分の考えをしっかりとった上で、ペア学習やグループ学習を通して学びを深めます。
- 学習課題や振り返りの提出は、指定された書面もしくは Classroom 内で行います。
- 探究するテーマについて、これまで学習した内容から仮説や検証計画を立て、実験結果の考察をグループで行うことを通して、科学的に探究する力を育成します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	生物基礎	単位数	3単位
		学年等	第2学年・理科型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>数研出版「新編 生物基礎」</p> <p>数研出版「リードα生物基礎」</p> <p>数研出版「フォトサイエンス生物図録」</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象から問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探求しようとしたり、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとしたりしている。
評価点	230点	230点	230点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	第1章 生物の特徴	・定期考査等	・定期考査等 ・実験レポート等の 記述分析	・学習課題等 ・実験レポートや振 り返り等の記述分 析
	第2章 遺伝子とのはたらき			
	評価点	60点	60点	60点
2 学 期	第3章 ヒトの体内環境の維持	・定期考査等	・定期考査等 ・実験レポート等の 記述分析	・学習課題等 ・実験レポートや振 り返り等の記述分 析
	第4章 生物の多様性と生態系			
	評価点	110点	110点	110点
3 学 期	第4章 生物の多様性と生態系つづき	・定期考査等	・定期考査等 ・実験レポート等の 記述分析	・学習課題等 ・実験レポートや振 り返り等の記述分 析
	評価点			

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	〔第1章 生物の特徴〕 第1節 生物の多様性と共通性	7
	5	第2節 エネルギーの代謝	10
		第3節 呼吸と光合成	
	6	〔第2章 遺伝子とそのはたらき〕 第1節 遺伝情報と DNA	12
7	第2節 遺伝情報の複製と分配 第3節 遺伝情報の発現 第 1 回考査	9	
2 学 期	8	〔第3章 ヒトの体内環境の維持〕 第1節 体内での情報伝達と調節	5
	9	第2節 体内環境の維持のしくみ 第 2 回考査	12
	10	◆----- 第3節 免疫のはたらき	8
	11	〔第4章 生物の多様性と生態系〕 第1節 植生と遷移 第 3 回考査	12
	12	◆-----	8
3 学 期	1	第2節 植生の分布とバイオーム	8
	2	第3節 生態系と生物の多様性	10
	3	第4節 生態系のバランスと保全 第 4 回考査	4
		◆-----	

5 その他

- 生物基礎の授業では自分の考えをしっかりとった上で、ペア学習やグループ学習を通して学びを深めます。
- 学習課題や振り返りの提出は、指定された書面もしくは Classroom 上で行います。
- 探究するテーマについて、これまで学習した内容から仮説や検証計画を立て、実験結果の考察をグループで行うことを通して、科学的に探究する力を育成します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	地学基礎	単位数	2単位
		学年等	第2学年・文科型

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなど科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)日常生活や社会との関連を図りながら、地球を題材にして論理的に思考する習慣や、基本的な技能を身に付ける。</p> <p>(2)観察、実験などを行い、自然に対する洞察力を深め、正しい自然観・地球観を養う。</p> <p>(3)自然と人間の共存に向けて実践し、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>啓林館「地学基礎」</p> <p>浜島書店「ニューステージ地学図表」河合出版「マーク式基礎問題集地学基礎」</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、地球を題材にして基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然と人間の共存に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価点	240点	240点	240点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	〔序章 自然の広がり〕 〔第1部 固体地球とその活動〕 第1章 地球 第2章 活動する地球	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・学習課題等 ・実験レポート等の記述分析
	評価点	60点	60点	60点
2 学 期	〔第2部 大気と海洋〕 第1章 大気の構造 第2章 太陽放射と大気・海洋の運動 第3章 日本の天気	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・学習課題等 ・実験レポート等の記述分析
	評価点	120点	120点	120点
3 学 期	〔第3部 移り変わる地球〕 第1章 地球の誕生 第2章 地球と生命の進化 第3章 地球史の読み方	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・実験レポート等の記述分析	・学習課題等 ・実験レポート等の記述分析
	評価点	60点	60点	60点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	[序章 自然の広がり] 探究活動地球環境と人類	2
		[第1部 固体地球とその活動]	
		第1章 地球	8
	5	・ 地球の概観 ・ 地球の内部構造	
	6	第2章 活動する地球 ・ プレートテクトニクスと地球の活動 ・ 地震 ・ 火山活動と火成岩の形成	7
		第 1 回考査	7
	7	◆ 探究活動災害と社会(地震災害・火山災害・気象災害)	
2 学 期	8	[第2部 大気と海洋]	
		第1章 大気構造	8
	9	・ 大気圏 ・ 水と気象	
		第2章 太陽放射と大気・海洋の運動	12
	10	・ 地球のエネルギー収支 ・ 大気の大循環 ・ 海水の循環	
		第 2 回考査	
	11	第3章 日本の天気 ・ 日本の位置 ・ 冬から春の天気 ・ 夏から秋の天気	12
	12		第 3 回考査
		◆ 探究活動人間生活と地球環境の変化	
3 学 期	1	[第3部 移り変わる地球]	
		第1章 地球の誕生	3
		・ 宇宙の誕生 ・ 太陽系の誕生	11
	2	第2章 地球と生命の進化	
	3	・ 先カンブリア時代 ・ 顕生代	第 4 回考査
		◆ 第 3 章 地球史の読み方	

5 その他

- 地学基礎の授業では自分の考えをしっかりと持った上で、ペア学習やグループ学習を通して学びを深めていきます。
- 探究活動は長期休業中に主体的な探究活動として研究し、休み明けにレポートの提出を行います。
- これまで学習した内容から仮説や検証計画を立て、実験結果の考察をグループで行うことを通して、科学的に探究する力を育成します。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	体育	単位数	3単位
		学年等	第2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次の通り育成することを旨とする。</p> <p>(1)運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解し、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画、他者の尊重などの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	現代高等保健体育(大修館書店) ステップアップ高校スポーツ2023(大修館書店)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、体力の必要性等について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	運動における競争や協働の経験を通して、公正、協力、責任、参画などの意欲をもち、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付けようとしている。
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	体づくり運動 選択Ⅰ： 器械運動(マット運動) (選択Ⅱ) 陸上競技(ハードル走・走り幅跳び)	スキルテスト 授業中の行動観察 レポートの記述分析	授業中の行動観察 レポートの記述分析	授業中の行動観察 レポートの記述分析
		80点	80点	80点
2 学 期	体づくり運動 体育理論 ダンス(創作) 選択Ⅲ:球技(ソフトボール, バレーボール, 卓球)	スキルテスト 授業中の行動観察 レポートの記述分析	授業中の行動観察 レポートの記述分析	授業中の行動観察 レポートの記述分析
		100点	100点	100点
3 学 期	体づくり運動(縄跳び) 男子:陸上競技(長距離走)・球技(バスケットボール) 女子:陸上競技(長距離走)・球技(サッカー)	スキルテスト 授業中の行動観察 レポートの記述分析	授業中の行動観察 レポートの記述分析	授業中の行動観察 レポートの記述分析
		70点	70点	70点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容		時数
		男子	女子	
1 学 期	4	領域【体づくり運動】 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、などを理解し、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができる。		36
	5	選 択 I	領域【器械運動(マット運動)】 ・技がよりよくできたり自己や仲間の課題を解決したりするなど多様な楽しさや喜びを味わい、技の行い方、体力の高め方、課題解決の方法を理解し、自己に適した技で演技することができる。・自己や仲間の課題を発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。	
	7		II 領域【陸上競技(ハードル・走り幅跳び)】 ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、運動観察の方法を理解するとともに、各種目特有の技能を身につけることができる。 ・自己や仲間の課題を発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。	
2 学 期	8	領域【体育理論】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解することができる。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。		42
	9	領域【ダンス(創作ダンス)】 ・表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で緩急強弱のある動きや空間の使い方で変化をつけて表現したり、作品にまとめて踊ることができる。 ・表現などの自己や仲間の課題の発見し、合理的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに自己や仲間の考えを他者に伝えることができる。		
	11	選 択 III	領域【球技(ソフトボール)】 ・状況に応じたバット操作や走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。 ・自己やチームの課題を発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。	
			領域【球技(バレーボール)】 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・自己やチームの課題の発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。	
12	領域【球技(卓球)】 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・自己や仲間の課題の発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。			
3 学 期	1	領域【陸上競技(長距離走)】・【体づくり運動(縄跳び)】 ・自己に適したペースを理解し、ペースの変化に対応して走ることができる。 ・自己や仲間の課題を発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。		27
	2	領域【球技(バスケットボール)】 ・安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	領域【球技(サッカー)】 ・安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	
	3	・自己やチームの課題の発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。	・自己やチームの課題の発見、解決に向けて自己の考えを他者に伝えることができる。	

5 その他

高校生の時期は生涯の中でも体力が高まる時期です。仲間と積極的に関わる良い学習空間の中で自身の体力、運動の技能を高め、生涯にわたって豊かなスポーツライフを過ごせる基盤にしていきましょう。

レポート等の学習課題は、ICT 機器を活用して Classroom 上で提出してもらいます。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	保健	単位数	1単位
		学年等	第2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	現代高等保健体育 現代高等保健体育ノート

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	【第3単元 生涯を通じる健康】 01～08	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・ノートの記述分析 ・グループワークでの記述分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・振り返り記述分析 ・グループワークでの記述分析・発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題等 ・グループワーク ・自主学習・振り返りの記述分析
	評価点	100点	100点	100点
2 学期	【第3単元 生涯を通じる健康】 09～10 【第4単元 健康を支える環境づくり】 01～06	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・ノートの記述分析 ・グループワークでの記述分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・振り返り記述分析 ・グループワークでの記述分析・発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題等 ・グループワーク ・自主学習・振り返りの記述分析
	評価点	110点	110点	110点
3 学期	【第4単元 健康を支える環境づくり】 07～11	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・ノートの記述分析 ・グループワークでの記述分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等 ・授業中の行動観察 ・振り返り記述分析 ・グループワークでの記述分析・発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題等 ・グループワーク ・自主学習・振り返りの記述分析
	評価点	90点	90点	90点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
1 学 期	4	【第3単元 生涯を通じる健康】 01ライフステージと健康 02思春期と健康	12	
	5	03性意識と性行動の選択 04妊娠・出産と健康		探究活動①;性教育について考える
		05避妊法と人工妊娠中絶		探究活動②;正しい避妊法について考える
	6	06結婚生活と健康 07中更年期と健康		
		08働くことと健康		
	7	<第1回考査>		
	2 学 期	8		【第3単元 生涯を通じる健康】 09労働災害と健康
9		10健康的な職業生活	探究活動③;仕事を健康の視点から考える	
		【第4単元 健康を支える環境づくり】 01大気汚染と健康		
10		02水質汚濁、土壌汚染と健康 03環境と健康にかかわる対策	探究活動④;過去の公害を振り返ってみよう	
		04ごみの処理と上下水道の整備	探究活動⑤;海洋プラスチックごみについて考える	
11		05食品の安全性 06食品衛生に係る活動	探究活動⑥;健康食品などの広告を分析してみよう 探究活動⑦;栄養素や食品ブームについて考える	
		12	<第3回考査>	
3 学 期	1	【第4単元 健康を支える環境づくり】 07保健サービスとその活用	8	
	2	08医療サービスとその活用 09医薬品の制度とその活用		探究活動⑧;医療機関のかかり方について考える 探究活動⑨;サリドマイド薬害に学ぶ
		10様々な保健活動や社会対策 11健康に関する環境づくりと社会参加		探究活動⑩;健康情報を正しく判断するために 必要なことを考える 探究活動⑪;健康政策について考える
	3	<第4回考査>		

5 その他

- 生涯に通じる健康について、ペア学習やグループ学習を通して、自分の考え方や社会の課題発見・解決の学びを深めていきます。
- 健康を支える環境づくりについて自己の考えをまとめ、他者と協同して課題解決に向けた取り組みを模索できる力を身に付けていきます。
- 学習課題や振り返りの提出は原則 ICT 機器を利用し、classroom 上で行います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	音楽Ⅱ	単位数	2単位
		学年等	第2学年・文科型選択

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の幅広い活動を通して、生徒が個性を生かしながら思いや意図をもって表現したり味わって鑑賞したりする力を育成し、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。 ・音楽が醸し出すよさや美しさなどを感じ取り、そこに価値を見いだせる感性を養う。 ・音や音楽を知覚・感受し、思考・判断する能力をはぐくみ、表現と鑑賞の能力を伸ばす。 ・中学校音楽科の学習を踏まえ、楽曲固有のよさや美しさなどを味わうだけでなく、文化的・歴史背景についても理解し、広い視野で音楽を捉えて、我が国及び諸外国の音楽文化への理解を深める。
使用教科書 副教材等	MOUSA2(教育芸術社)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって鑑賞している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、表現意図をもって演奏している。	自らが、音楽が持つ魅力を探し探求し楽しんでいこうという思いで学習に取り組んでいる。作品の良さを音楽的知識と結びつけ、自分の感性を働かせて音楽表現や鑑賞を楽しむことができている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	日本語の歌 リコーダーアンサンブル 舞台芸術(ミュージカル) 創作	<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験 ・ワークシート ・授業中の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験 ・ワークシート ・課題プレゼンテーション ・授業中の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 実技試験 ・振り返りシート等 ・授業中の取り組み
	評価点	100点	100点	100点
2	ドイツ・イタリア歌曲 ギターに親しもう 西洋音楽史 舞台芸術(オペラ)	<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験 ・ワークシート ・授業中の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験 ・ワークシート ・課題レポート ・授業中の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験 ・振り返りシート等 ・授業中の取り組み
	評価点	100点	100点	100点
3	混成三部合唱に取り組もう 三線に親しもう	<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験 ・ワークシート ・授業中の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験 ・ワークシート ・課題プレゼン ・授業中の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験 ・振り返りシート等 ・授業中の取り組み
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	日本語の歌を歌おう ・曲にふさわしい発声や発音、歌う姿勢を身につけて歌い、表現に必要な技能を身につける ・日本のポピュラー音楽、歌曲の歌詞と曲想との関わりについて理解する ・音楽を形作っている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら歌唱表現を工夫する	7
	5	表現を工夫してリコーダーを演奏しよう ・曲にふさわしい奏法や体の使い方などに留意して演奏し、表現に必要な技能を身につける ・独奏やアンサンブルで演奏したり互いに聴きあったりして、曲想と楽器の音色や双方との関わり及びその関わりによって生み出される効果を理解する	8
	6	ミュージカルナンバーを歌おう(舞台芸術) ・物語のあらすじや登場人物の心情などを理解するとともに今日にふさわしい発声等を身につけて歌う ・音楽を形作っている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら個性豊かに歌唱表現を工夫する	6
	7	鑑賞 曲の良さや美しさを探ろう(西洋音楽史/ソルフェージュ)	4
2 学期	8	イタリア・ドイツ歌曲を歌おう ・曲にふさわしい発声や言葉の発音、歌う姿勢を身につけて歌い、表現に必要な技能を身につける ・歌ったり互いに聴きあったりしながら、曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解する	7
	9	表現を工夫してギターを演奏しよう	8
	10	・曲にふさわしい奏法や体の使い方などに留意して演奏し、表現に必要な技能を身につける ・音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら個性豊かに器楽表現を工夫する	8
	11	オペラアリアに親しみ、アリアに挑戦しよう(舞台芸術) ・オペラを鑑賞し、物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解するとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、体の使い方などに留意して歌い、表現に必要な技能を身につける ・曲や演奏に対する評価とその根拠を述べ合ってよりよい歌唱表現につなげる	8
3 学期	12	創作 変奏や編曲に挑戦しよう	6
	1	表現を工夫して混成三部合唱に取り組もう ・一人一人が主体的に歌いながら、他者との調和を意識して歌う技能を身につける ・各パートの役割を意識するとともに全体の響きや表現上の効果に留意しながら歌う	8
	2 3	日本の伝統音楽と郷土の芸能について知ろう ・琵琶楽・文楽・歌舞伎及び各地に伝わる風流踊りを鑑賞したり調べたりしながら、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深める ・音楽表現の共通性と固有性について気づいたことを述べ合う	8

5 その他

音楽Ⅰと比較して発展的な難易度の高い作品を扱い、音楽表現の幅を広げて理解を深めていきます。音楽Ⅰと同様、ペアやグループ、クラス全体での活動が多くあるため、積極的に取り組みましょう。また、音楽Ⅱではリコーダーアンサンブルを学習します。ない場合は貸し出しますが、基本的には中学校で使用したアルトリコーダーを準備しておいてください。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	美術Ⅱ	単位数	2単位
		学年等	第2学年・文科型選択

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	高校生の美術2(日本文教出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	鉛筆画の制作 陶芸作品の制作 水彩画の制作	・提出作品 ・小テスト等	・提出作品 ・作品解説用紙	・鑑賞プリント ・振り返りシート
	評価点	70点	70点	70点
2 学 期	油彩画の制作 コラージュ作品の制作	・提出作品 ・小テスト等	・提出作品 ・作品解説用紙	・鑑賞プリント ・振り返りシート
	評価点	80点	80点	80点
3 学 期	ミクストメディア作品の制作 映像作品の制作	・提出作品 ・小テスト等	・提出作品 ・作品解説用紙	・鑑賞プリント ・振り返りシート
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
第1学期	4	○鉛筆画の制作 ・描画材としての鉛筆の特性 ・鉛筆による描法について ・参考作品の鑑賞	10
	5	・制作 ・完成作品の鑑賞と振り返り	
	6	○陶芸作品の制作 ・陶芸の歴史について ・粘土と釉薬について ・ろくろの使い方 ・制作 ・完成作品の鑑賞と振り返り	8
	7	○水彩画の制作 ・水彩絵の具の特性 ・参考作品の鑑賞 ・制作 ・完成作品の鑑賞と振り返り	4
		次学期の制作に向けての準備(参考資料探しなど)	2
第2学期	8	○油彩画の制作	24
	9	・油彩画基礎演習 ・色彩／構図について ・油彩の参考作品の鑑賞	
	10	・制作 ・完成作品の鑑賞と振り返り	
	11		
	12	○コラージュ作品の制作 ・コラージュの歴史について ・制作 ・完成作品の鑑賞と振り返り	6
第3学期	1	○ミクストメディア作品の制作 ・ミクストメディアについて ・画材研究 ・制作 ・完成作品の鑑賞と振り返り	12
	2	○映像作品の制作 ・映像制作の手順について ・動画編集研究 ・制作 ・完成作品の鑑賞と振り返り	4
	3	1年間のまとめ	

5 その他

- 授業時間数が少なく、限られているので、集中して、能率よく作業をするようにしよう。
- 美術は手間です。こだわりを持って手間を惜しまないようにすれば、おのずから、実力が身に付いてきます。
- 常に次に行くことを考え、事前に準備をし、忘れ物をしないようにしよう。後片付けを確実に行ってください。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	書道Ⅱ	単位数	2単位
		学年等	第2学年・文科型選択

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。 ・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。 ・主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
使用教科書 副教材等	東京書籍 書道Ⅱ ペン習字の基礎

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・書の表現の方法や形式、書表現の多様性などについて理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付け、表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい深く捉えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとしている。
評価点	100点	100点	100点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	漢字の書体とその特徴 漢字の書① 篆書古典の学習 漢字の書② 隷書古典の学習 漢字の書③ 篆書、隷書創作 篆刻	<ul style="list-style-type: none"> ・提出作品等 ・授業中の行動観察 ・ファイル(ワークシート)の記述分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出作品等 ・授業中の行動観察 ・ファイル(ワークシート)の記述分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出作品等 ・授業中の行動観察 ・ファイル(ワークシート)の記述分析
	40点	40点	40点	
2 学期	刻字 鑑賞① 生活の仮名の書① 硬筆行書 仮名の書 俳句を使った創作 鑑賞②	<ul style="list-style-type: none"> ・提出作品等 ・授業中の行動観察 ・ファイル(ワークシート)の記述分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出作品等 ・授業中の行動観察 ・ファイル(ワークシート)の記述分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出作品等 ・授業中の行動観察 ・ファイル(ワークシート)の記述分析
	30点	30点	30点	
3 学期	発展的な創作「ストラップ制作」 漢字仮名交じりの書「扇面創作」 一字書創作 鑑賞③ 生活の仮名の書② 硬筆行書	<ul style="list-style-type: none"> ・提出作品等 ・授業中の行動観察 ・ファイル(ワークシート)の記述分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出作品等 ・授業中の行動観察 ・ファイル(ワークシート)の記述分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出作品等 ・授業中の行動観察 ・ファイル(ワークシート)の記述分析
	30点	30点	30点	

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
1 学期	4	漢字の書体とその特徴	・様々な書体について、その特徴と時代背景を通して理解を深める。	2
		漢字の書① 篆書古典の学習	・篆書古典の時代背景を学び、用筆・運筆法を理解する。	4
	5	漢字の書② 隸書古典の学習	・隸書古典の時代背景を学び、用筆・運筆法を理解する。	4
		漢字の書③ 篆書、隸書創作	・篆書や隸書を作品制作に活かすことにより、書表現の方法を高める。	4
	6			
	7	篆刻	・朱文印を制作する。	10
2 学期	8	漢字創作	・様々な書体や書風を生かし創作する。	4
	9	刻字	・創作した作品をもとに刻字作品の制作を行い、書作品における線表現の大切さについて理解を深める。	18
	10			
	11	鑑賞①	・相互鑑賞で他者の作品を味わう。	1
	12	生活の中の書① 硬筆行書	・実技の習得や理論学習を通して、硬筆の幅広い 技能を高める。	1
		仮名の書 俳句を使った創作	・1年次の学習を踏まえ、俳句を利用した創作を行い、仮名における美意識を深める。	5
		鑑賞②	・相互鑑賞で他者の作品を味わう。	1
3 学期	1	細字創作「ストラップ制作」	・既習の内容を利用し創作する。 ・小筆の扱いに慣れる。	4
		漢字仮名交じりの書「扇面創作」	・扇面を利用し、紙面構成や文字の造形を様々な工夫し、表現する。	6
	2	一字書創作	・一字の大書作品制作を通して、多彩な線表現について理解を深める。	4
	3	鑑賞③	・相互鑑賞で他者の作品を味わう。	1
		生活の中の書② 硬筆行書	・実技の習得や理論学習を通して、硬筆の幅広い 技能を高める。	1

5 その他

- 1年次の学習内容を発展させながら、自分の得意な・好きな文字群を選択し作品化する機会が増える。自信をもって表現できるよう芸術的表現力を高めて欲しい。
- 日常生活の中に積極的に書を取り入れ、書への関心を高めて欲しい。
- 中国や日本の書道史の学習においては、世界史や日本史の学習領域とも共通することが多いので注意する。
- 清書や添削作品、プリント類をファイルしておく。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	英語コミュニケーション II	単位数	4単位
		学年等	2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>FLEX ENGLISH COMMUNICATION II (増進堂) FLEX ENGLISH COMMUNICATION II 予習&授業ノート(増進堂) Hyper Listening Elementary 4th Edition(桐原書店) 英語速読演習 改訂マイレージリーダー Mileage Reader② (いいずな書店) WORDBOX ワードボックス英単語・熟語 エッセンシャル 第2版 (美誠社) 超長文読解問題集 It's a Long Story Basic/ Standard (エスト出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価点	350点	350点	350点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	Lesson 1	・定期考査等	・定期考査等	・学習課題等
	Lesson 2 Lesson 3	・授業中の行動観察 ・学習プリントの記述	・授業中の行動観察 ・学習プリントの記述 ・パフォーマンステスト	・授業中の行動観察 ・学習プリントの記述
	評価点	100点	100点	100点
2 学期	Lesson 4	・定期考査等	・定期考査等	・学習課題等
	Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7	・授業中の行動観察 ・学習プリントの記述	・授業中の行動観察 ・学習プリントの記述 ・パフォーマンステスト	・授業中の行動観察 ・学習プリントの記述
	評価点	150点	150点	150点
3 学期	Lesson 8	・定期考査等	・定期考査等	・学習課題等
	Lesson 9 Lesson 10	・授業中の行動観察 ・学習プリントの記述	・授業中の行動観察 ・学習プリントの記述	・授業中の行動観察 ・学習プリントの記述

			・パフォーマンステスト	
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	Lesson 1: Anime Pilgrimages ①アニメ聖地巡礼と地域に与える影響を理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。	4
	5	②「受け身の不定詞」「受け身の進行形」の用法を理解し、それらを用いて表現する。 Lesson 2: Iwaya Keisuke and the Pursuit of Dreams ①岩谷圭介氏のふうせん宇宙撮影について理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。	8
	6	②「助動詞+完了形」「受け身の完了形」の用法を理解し、それらを用いて表現する。 Lesson 3: The Surprising History of Salt ①塩の歴史的な役割を理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。	9
	7	②「If節のない仮定法」「動名詞の意味上の主語」の用法を理解し、それらを用いて表現する。 第1回考査	10
2 学 期	9	Lesson 4: A Future World, with or without Sea Turtles ①ウミガメの生態と環境保全のために私たちがすべきことと理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。	10
	10	②「as ifを用いた仮定法」「疑問詞+to do」の用法を理解し、それらを用いて表現する。 Lesson 5: The Psychology of Waiting in Line ①長い列に並んで待つときの人間の心理について理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。	11
	11	②「同格を導く接続詞 that」「関係副詞の非制限用法」の用法を理解し、それらを用いて表現する。 第2回考査	11
	12	Lesson 6: The Human Library ①ヒューマンライブラリーのエピソードと共生社会を実現するために私たちがすべきことを理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 ②「否定の分詞構文」「完了形不定詞」の用法を理解し、それらを用いて表現する。 Lesson 7: More Than Just Shelters ①坂茂氏の被災地での慈善活動と若者へのメッセージを理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 ②「部分否定」「If S' were to V'、S would V …」の用法を理解し、それらを用いて表現する。 第3回考査	11
3 学 期	1	Lesson 8: Infectious Diseases and Humans ①ウイルスの実態と感染症の歴史を理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。	10
	2	②「付帯状況の with」「受け身の分詞構文」の用法を理解し、それらを用いて表現する。 Lesson 9: Fashion for Pride ①コンゴ共和国の実態とサプールの考えを理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。	10
	3	②「倒置」「完了形の分詞構文」の用法を理解し、それらを用いて表現する。 Lesson 10: Larry Page and the Dream of Google ①Google 誕生秘話と夢を叶えるために大切なことについて理解し、その理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 ②「複合関係代名詞」「二重否定(肯定の意味を表す)」の用法を理解し、それらを用いて表現する。 第4回考査	11

5 その他

英語コミュニケーションⅡでは、1年次の英語コミュニケーションⅠで身につけた英語の4技能をさらに伸ばしていきます。取り組む英文のレベルも高くなり、より多くの語彙を習得していきます。加えて、各学期にパフォーマンステストを実施していく予定です。皆さんに英語を活用する力が少しでもつくようお互いに頑張ってください。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理・表現 II	単位数	2単位
		学年等	2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>Vision Quest English Logic and Expression II Hope(啓林館)</p> <p>Vision Quest 英語表現II Hope ワークブック(啓林館)</p> <p>Vision Quest 総合英語 3rd Edition(啓林館)</p> <p>英文法・語法 Engage 3rd Edition(いっずな書店)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
評価点	350点	350点	350点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3 Lesson 4	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査等 授業中の行動観察 学習プリントの記述 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査等 授業中の行動観察 学習プリントの記述 パフォーマンステスト 	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題等 授業中の行動観察 学習プリントの記述
	評価点	100点	100点	100点
2 学期	Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8 Lesson 9	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査等 授業中の行動観察 学習プリントの記述 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査等 授業中の行動観察 学習プリントの記述 パフォーマンステスト 	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題等 授業中の行動観察 学習プリントの記述
	評価点	150点	150点	150点
3 学期	Lesson 10 Lesson 11 Lesson 12	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査等 授業中の行動観察 学習プリントの記述 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査等 授業中の行動観察 学習プリントの記述 パフォーマンステスト 	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題等 授業中の行動観察 学習プリントの記述
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	Lesson 1 What is your future goal? ① 適切な主語を用いる。 ② 将来の夢や実現するための努力について、文と文のつながりを意識して表現する。	4
	5	Lesson 2 What school events do you have? ① 適切な動詞を用いる。 ② 留学生のために催したい学校行事について自分の考えや詳細を順序立てて表現する。	6
	6	Lesson 3 Who is the best athlete? ① 時を表す表現を用いる。 ② 好きなスポーツ選手や彼らの達成について、具体例や情報を加えて表現する。 第1回考査	6
	7	Lesson 4 Is social media safe? ① 義務・必要・推量を表す。 ② ソーシャルメディアの利点と欠点について話し合い、その意見を比較・対比するパラグラフを書く。	6
2 学期	9	Lesson 5 How does overusing energy affect us? ① 情報を加える。 ② 深刻な環境問題について、理由や因果関係を示すパラグラフを書く。	7
	10	Lesson 6 What are some cultural differences? ① 情報を加える。 ② 海外旅行者の傾向について、自分の主張や理由の根拠を示す引用を用いて、パラグラフを書く。 第2回考査	6
	11	Lesson 7 Do all Japanese people need to speak English? ① 情報を加える。 ② 公用語について書かれた記事の構成や要点を理解し、要約をパラグラフにまとめる	6
	12	Lesson 8 Is Japan open enough? ① 情報を伝える。 ② 日本の教育制度に関する発表を聞き、要点を理解し、要約をパラグラフにまとめる。	6
		Lesson 9 What if you were rich? ① 条件と仮定を表す。 ② 自分の願望について、詳細な説明や理由を付け加えてスピーチする。 第3回考査	5
3 学期	1	Lesson 10 How might AI affect our lives? ① 数量を表す。 ② AI と共に生きるのに何が重要かについて、資料やデータを示して発表する。	6
	2	Lesson 11 What is a healthy life? ① 比較を表す。 ② 「10 代の若者は 8 ～9 時間の睡眠をとるべきか」という議題のディベートにおいて、自分の立場から主張や根拠となる考えを述べる	6
	3	Lesson 12 What is important when we sell chocolate? ① 否定を表す。 ② チョコレートの売り上げを伸ばすのに重要なことについて、グループで共に意見や考えを出し合い、ディスカッションする。 第4回考査	6

5 その他

英語で適切にコミュニケーションを取れるようになるためには、英語独特の文構造や文法の決まりを知っておくこと、また内容に関連した単語や表現を身につけることが必要です。ルールを知り、様々な表現方法を知った上で正確な発音を身につけようとする態度で何度も音読を繰り返すとともに、ある程度まとまりのある文章を書いたり即興でスピーチしたりする練習を繰り返しましょう。英語でのコミュニケーションにおいて最も大切なことは、間違いを恐れず積極的に話したり、書いたり、聞いたりする姿勢をもつことです。授業ではペアワークやグループワーク、発表活動など取り入れます。このような活動には、お互いを理解し高める気持ちで積極的に取り組みましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	家庭科・家庭基礎演習	単位数	2単位
		学年等	第2学年・文科型選択

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>家庭基礎で学んだ生活の営みに関わる見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1)家庭基礎で学んだ食生活や福祉、保育等の内容を基に、持続可能な社会や健康な生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに関わる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。</p> <p>(3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>「高等学校 家庭基礎 持続可能な未来をつくる」(第一学習社)</p> <p>「2023最新 生活ハンドブック 資料&成分表」(第一学習社) 自主教材:授業プリント・ワークシート</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	家庭基礎で学んだ食生活や福祉、保育等の内容を基に、持続可能な社会や健康な生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに関わる技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を身に付けている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	5章 食生活をつくる 1 食生活について考えよう 2 安全や健康を考えた食生活を実践しよう 3 食事をつくってみよう 4 これからの食生活のために	・授業中の行動観察 ・ワークシート(活動) ・学習プリント ・実技テスト ・確認テスト	・授業中の行動観察 ・ワークシート(活動) ・学習プリント ・作品	・授業中の行動観察 ・ワークシート(活動) ・学習プリント ・作品
	評価点	60点	60点	50点
2 学期	4章 とともに生きる 5章 食生活をつくる 5 オリジナル料理 6 安全で環境に配慮した食生活を考える。 7 行事食を作ろう。 持続可能な社会に向けて(ポスター作成)	・授業中の行動観察 ・ワークシート(活動) ・学習プリント ・実技テスト ・確認テスト	・授業中の行動観察 ・ワークシート(活動) ・学習プリント	・授業中の行動観察 ・ワークシート(活動) ・学習プリント
	評価点	90点	90点	90点
3 学期	持続可能な社会(ポスター作成・発表・行動宣言) 2章 次世代をはぐくむ 3章 充実した生涯へ	・授業中の行動観察 ・作品、レポート ・確認テスト	・授業中の行動観察 ・ポスター作品、 ・ワークシート(発表)	・授業中の行動観察 ・ポスター作品 ・ワークシート(発表)
	評価点	50点	50点	60点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	5章 食生活をつくる 1 食生活について考えよう ・食の現状と課題	2
	5	2 安全や健康を考えた食生活を実践しよう ・食事摂取基準と食品群別摂取量のめやすについて ・食品の衛生と安全	2
		3 食事をつくってみよう ・栄養、食品特性やマナーを意識した調理法の要点や調理の基礎技術	15
	6	探究活動1 標語作り	5
		探究活動2 栄養、食品特性やマナーを意識した調理実習 探究活動3 栄養、食品ポスター作製と発表 実技テスト・確認テスト	
	7	4 これからの食生活のために ・健康を考えた献立作成と調理実習	5
		5 食生活の変化 探究活動4 家族の食事における献立作成と調理実習 探究活動5 家族の献立作成<夏課題・調理>	
8	3章 充実した生涯へ(社会福祉) 探究活動6 プロフェッショナルから話を聞こう		
2 学期	8	夏課題発表 探究活動7 オリジナル料理発表<夏課題>	2
	9	4章 ともに生きる 1 社会保障制度と社会的連帯	2
		2 人の多様性と社会参加 社会的制度、社会福祉の基本的な理念、ともに支え合って生きる社会の考え方について理解 する。地域社会に対する奉仕やボランティア活動を重視する。	6
	10	5章 食生活をつくる	10
	6 持続可能な食生活 探究活動9 食生活における持続可能な社会を考える		
	11	7 安全で環境に配慮した食生活を考える。 ・食品の表示と保存	4
		探究活動10 表示作りと調理実習 実技テスト・確認テスト	
12	8 行事食を考える 探究活動10 調理実習	6	
	・家庭科のまとめ<課題研究>：持続可能な社会の実現にむけて(エシカル消費) 生活の中から課題を見出し、個人単位で主体的に計画を立てて問題の解決をはかる。 探究活動11 冬課題(課題研究の情報収集)		
3 学 期	1	2章 次世代をはぐくむ 探究活動12 ボランティア活動:卒園カード作り	6
	2	家庭科のまとめ<課題研究> ・現代の消費生活が資源を枯渇させ、環境に悪影響をおよぼしていることについて考えさせる。	7
	3	・環境負荷の少ない生活をめざして、生活意識や生活様式を見直し、環境に調和したライフスタイルの確立をはかる。 探究活動11 課題研究と発表	3

5 その他

- 実習の多い授業です。実習の中から自らの課題を発見し、課題解決力を身に付けましょう。
- 実技テストの内容は早めに知らせます。家庭でも練習を行い、またテスト後も生活の中で実践し、実技力の向上に努めてください。
- 毎時間提出物があります。また、課題や作品は提出期限を守りましょう。
- 作品やレポートは掲示又はプレゼンテーションを行います。互いに評価し合い、学び合う力を身に付けてください。

学校において定める 目 標		<p>3年間の系統的な探究活動を通じて、変化の激しい社会の中に課題を見だし、その課題について「自分ごと」化して自ら学び、思考・判断し、問題をよりよく解決しようとする資質や能力を育てる。</p> <p>（1）教科横断的な探究の「型」を学ぶことを通じて、課題の発見と、解決に必要な知識および技能を身につける。</p> <p>（2）社会と自分とのつながりの中から課題を発見し、解決のプロセスを思考・判断したうえで、その分析を他者にわかりやすく伝えるための表現力を身につける。</p> <p>（3）他者との協働的な活動を通じて、主体的に学ぼうとする姿勢やよりよい社会を実現しようとする態度や人間性を身につける。</p>
内 容	探 究 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育Ⅱ：進路実現に向けた活動、修学旅行FW ・平和学習Ⅱ：世界の核と軍縮問題 ・地域探究Ⅱ：地域の課題を発見し、考察する活動
	育成を目指す 具 体 的 な 資 質 ・ 能 力	<ol style="list-style-type: none"> 1. 複数の情報を俯瞰し、横断的に組み合わせて深まりをもたせ、より深い学びにつなげていく能力 2. 地域に関して課題意識をもち、フィールドワーク等を通して実践的に問題を解決する能力 3. 学習成果を他者にわかりやすく伝え、生きて働く知識として自己の中に形成する能力
付与する単位数		1単位
授業時数の配当方法		原則木曜日5時間目に授業を固定し、1年間を通じて均等に時間を配分する。 フィールドワークに要した時間は総合的な探究の時間に加える。
学 習 活 動		地域探究を中核に据え、情報収集と資料作成、発表を組み合わせる学習活動を行う。
教 材 の 使 用 等		校内で作成したワークシートやタブレット端末等を用いる。
指導方法・指導体制		<ul style="list-style-type: none"> ・指導原案は教育研究部が作成し、そのうえで担任・副担任を問わず学年教員で指導にあたる。 ・教育研究部のほか、教務部、進路指導部などの関係部署で連携して指導にあたる。
評価規準・評価方法		<ul style="list-style-type: none"> ・個人、グループで作成した成果物を保存し、評価する。 ・学習に対する振り返りを通じて、学習過程における能力や態度の伸長を評価する。

単元	月	探究の過程	学習内容・学習活動	時数	学習活動（場所）	各教科・特別活動等との関連・指導上の留意点等		
キャリア教育Ⅱ	4月	課題の設定 情報の収集 整理・分析 まとめ	○「地域」を題材に探究の型を学ぶ。	2	個人・グループ （各教室）	○小・中学校以上の専門性の高い課題を設定する。 ○情報収集の場面ではテーマに関連する教科と連携して進める。		
	5月			3				
	6月	課題の設定 情報の収集	○進路別研修に向けた取り組みとして、訪問先の企業を調べ、課題と問いを設定する。	4			個人・グループ （各教室） 東京の企業	
	7月			3				
	8月			1				
	9月			6				
	10月	整理・分析 まとめ	○平和学習 ○進路別研修で実際に企業を訪問して学んだことをまとめ、発表する。	3			個人・グループ （各教室）	○情報収集の場面では地域やテーマに関連する教科と連携して進める。
	11月			4				
	12月			3				
地域探究Ⅱ	1月	課題の設定 情報の収集	○進路別研修で得た知見をもとに、希望進路や地域が抱える課題について情報収集し、問いを立てる。	3	個人・グループ （各教室）	○情報収集の場面では地域やテーマに関連する教科と連携して進める。		
	2・3月	まとめ 表現	○「地域」の課題や立てた問いに関する調査計画をまとめ、発表する。	4				
備考	<p>○全員にファイルを持たせ、全ての資料を保管させるとともに、クラウド上に活動記録を残させる。</p> <p>○「ふりかえり」の時間を設定し、探究活動の記録を生徒自身にとらせる。</p> <p>※地域社会と関わりながら、発展的に課題を探究する課題班（希望者）を別途設定する。</p>							